

(3) 北関東



北関東地域では、景気はやや弱含んでいる。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費はやや弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢はやや弱含んでいる。

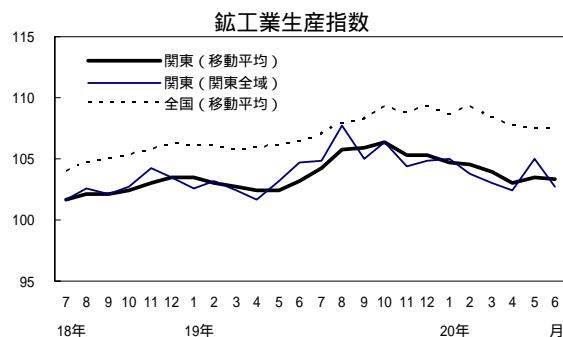
前回調査からの主要変更点

| | 前回(平成20年5月) | 今回(平成20年8月) |
|------|-------------|-------------|
| 景況判断 | 回復の動きに足踏み | やや弱含み |
| 個人消費 | おおむね横ばい | やや弱含み |
| 住宅建設 | 減少 | 大幅に減少 |
| 雇用情勢 | 改善の動きに足踏み | やや弱含み |

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。(関東全域)

輸送機械は、小型乗用車が好調であったものの、普通乗用車や二輪自動車が低調であったため、2四半期連続で減少している。化学は、原材料高により食品トレーに使われるスチレンモノマーや連結材のフェノールなどの樹脂を中心に生産調整が影響し、振るわなかつたものの、医薬品が好調であったため、3四半期ぶりに増加している。一般機械は、国内及びアジア向けの半導体製造装置が不調であったため、2四半期連続で減少している。電気機械は、鉄道会社向け開閉制御装置、電力会社向け非標準変圧器が好調で、増加している。



(備考) 1. 17年 = 100、季節調整値。関東の最新月は速報値。

2. 全国及び関東の大線は後方3か月移動平均。

| | 付加価値 ウェイト | 域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%) | | |
|---------|--------------|--------------------------|-----------|-----------|
| | | 生産 | 出荷 | 在庫 |
| | | 1~3 月期 | 4~6 月期 | 4~6 月期 |
| 輸送機械 | 15.2 | 3.8 | 0.4 | 0.4 |
| 化学 | 13.4 | 3.7 | 2.4 | 0.2 |
| 一般機械 | 13.2 | 3.6 | 3.2 | 0.3 |
| 電気機械 | 7.8 | 5.2 | 1.3 | 0.0 |
| 食料品・たばこ | 7.1 | 2.8 | 2.1 | 0.1 |
| 鉱工業 | 100.0 | 1.1 | 0.6 | 1.8 |
| | | | | 0.7 |

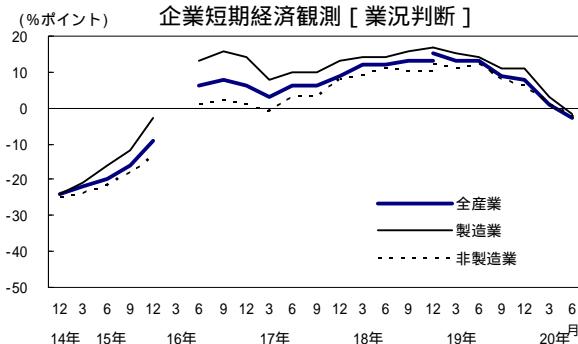
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 4~6月期は速報値。

3. 食料品・たばこの在庫指数は公表されていない。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超に転じ、資金繰り判断は「楽である」と「苦しい」とが同数となっている。

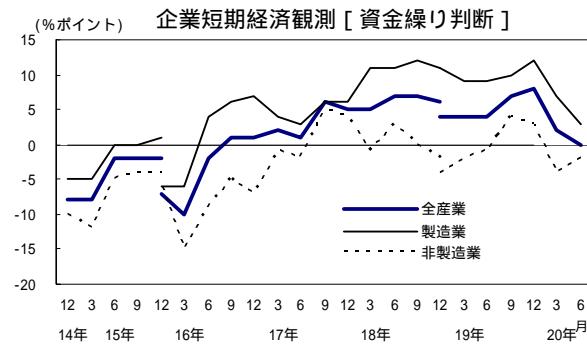
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」 - 「悪い」回答者数構成比。

旧基準は15年12月まで。新基準は16年6月から。

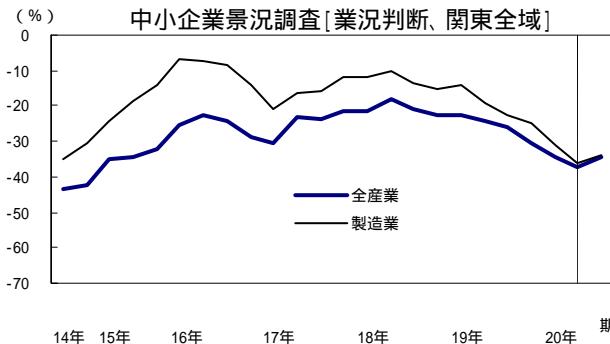
18年12月は新・旧基準を併記。関東全域(新潟県を含む)。



(備考)「楽である」 - 「苦しい」回答者数構成比。

15年12月および18年12月は新・旧基準を併記。

15年12月までは関東全域、以降は日本銀行前橋支店管内。



(備考)「好転」 - 「悪化」回答者数構成比。20年期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月)[企業動向関連(現状)]

「客は必要枚数のみ印刷するようになっている。以前は多少余分に印刷する傾向にあった(出版・印刷・同関連産業)」など、「やや悪くなっている」とする回答が多くみられた一方で、「3、4月くらいまでは人手が足りず、人材募集を行っていたが、7、8月は仕事がなく、パートの勤務時間を短縮する、休日を増やす等の対処をしている。このような状況は数年ぶりであり非常に悪い(電気機械器具製造業)」など、「悪くなっている」とする回答もみられた。

(3) 20年度の設備投資は前年度を大幅に下回る計画となっている。

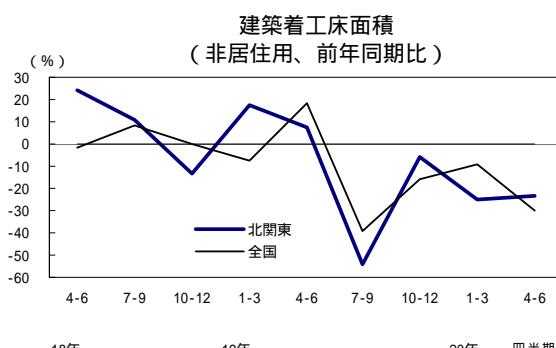
企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

(前年度比、%)

| | 19年度実績 | | 20年度計画 | |
|------|---------------|---------------|--------|--------|
| | 19年度実績 | 20年度計画 | 19年度実績 | 20年度計画 |
| 全産業 | 10.0 [7.2] | 12.6 [6.4] | | |
| 製造業 | 2.2 [0.9] | 0.3 [1.7] | | |
| 非製造業 | 27.1 [19.1] | 26.6 [16.3] | | |

(備考)[]は前回(3月)調査結果。

調査対象は日本銀行前橋支店管内。



(3) 北関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費はやや弱含んでいる。

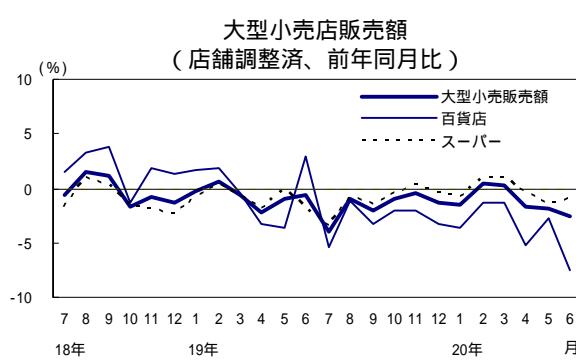
大型小売店販売額及びコンビニエンスストア販売額

百貨店は、4月は、天候不順のため主力の衣料品が不調であり、美術品等その他高額商品も低調であったことから、前年を下回った。5月は、国産野菜が好調で飲食料品の動きが良く、紳士物スーツやジャケット等の衣料品が不調であったことから、前年を下回った。6月は引き続き飲食料品の動きは良く、衣料品ではクーリビズ商材に動きがあったものの、気温が低く雨が多かったことから全般に夏物商材が伸び悩み、12か月連続で前年を下回った。

スーパーは、「こどもの日」、「父の日」などの催事への対応や、プライベート商品が好調であったが、衣料品は振るわらず、全体としては前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(7月)[家計動向関連(現状)]

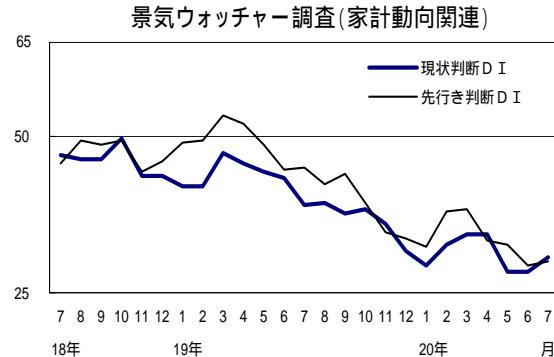
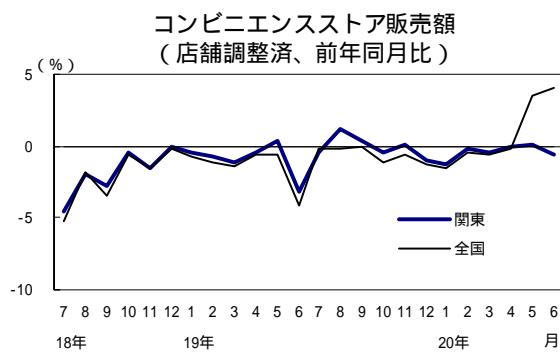
「燃料高騰のためプライベートでの旅行を見合わせる様子がうかがえる。海外旅行の問い合わせが減少しているが、その分国内が好調かと言うとそうでもない。例年、この時期の北海道は売れ筋だが、洞爺湖サミットのため減少している(旅行代理店)」など、「やや悪くなっている」とする回答が多くみられた。



| | 19年7-9月 | 10-12月 | 20年1-3月 | 4-6月 |
|----------|---------|--------|---------|------|
| 大型小売店 | 2.3 | 0.9 | 0.3 | 2.1 |
| 百貨店 | 3.5 | 2.6 | 2.2 | 5.2 |
| スーパー | 1.9 | 0.3 | 0.4 | 1.0 |
| コンビニ | 0.3 | 0.5 | 0.7 | 0.2 |
| 景気ウォッチャー | 38.6 | 35.4 | 32.2 | 30.4 |

(備考) 1. 大型小売店及びコンビニは店舗調整済。20年4-6月期は速報値。コンビニは関東全域。

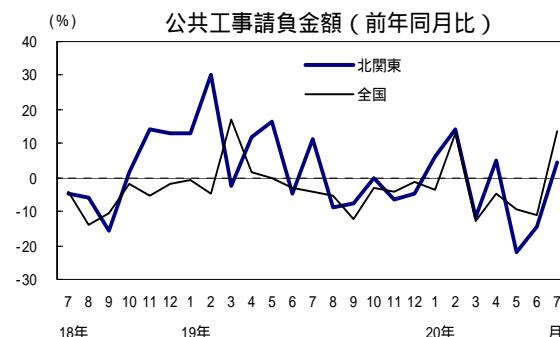
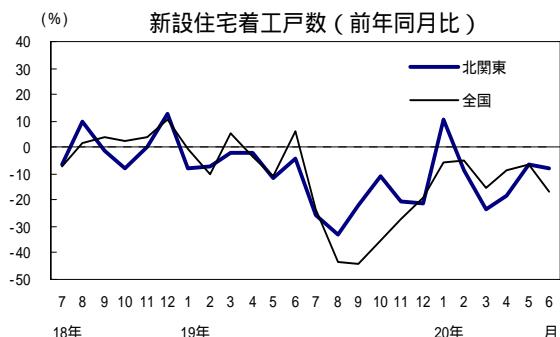
2. 景気ウォッチャーは家計動向関連の現状判断D Iの3か月平均。



(2) 住宅建設は大幅に減少している。

持家、貸家、分譲が前年を下回ったことから、全体でも大幅に減少している。

(3) 公共投資は20年度累計でみると前年度を下回っている。

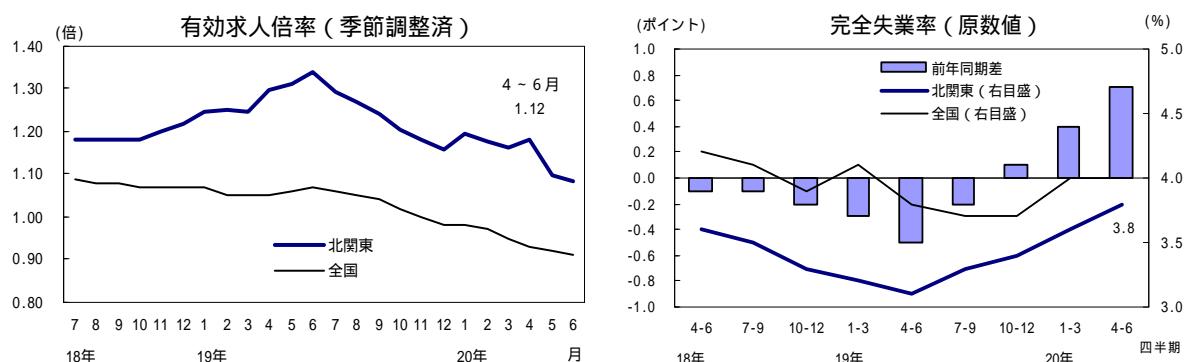


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢はやや弱含んでいる。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前年同期を上回っている。



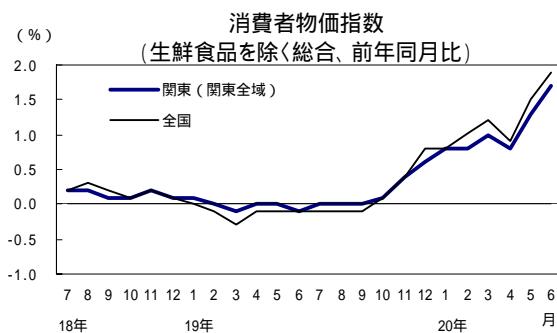
景気ウォッチャー調査(7月)[雇用関連(現状)]

「求人に急ブレーキをかける企業が増え、夏の賞与ゼロ回答も目立ち、外資系大手ではいち早くリストラを始めている(民間職業紹介機関)」など、「やや悪くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

| 企業倒産 | | | | | |
|---------------|-------------|---------------|--------------|-------------|-------------|
| | 19年7-9月 | 10-12月 | 20年1-3月 | 4-6月 | 20年7月 |
| 倒産件数 (前年比) | 192 22.3 | 196 2.6 | 209 0.0 | 216 3.1 | 62 8.8 |
| 負債総額 (前年比) | 875 6.9 | 1,221 13.1 | 1,064 4.9 | 600 42.1 | 346 12.5 |



景気ウォッチャー調査(7月)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・何もかもすべてが値上げになっている現状では、自宅で食事をすることが増え、客の動きが非常に鈍くなっている(都市型ホテル)

<先行き>

- ・ガソリンの高騰で、客に車を買う余裕が無い。通常、金額が掛かる修理の場合、買換えを検討するが、迷わず修理を選んでいる(乗用車販売店)

